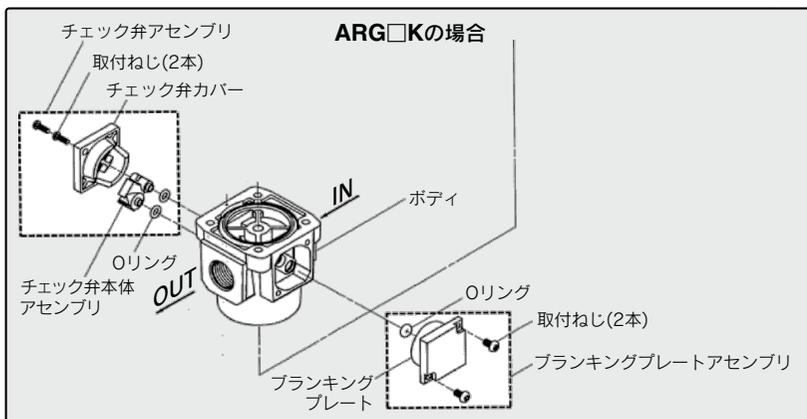
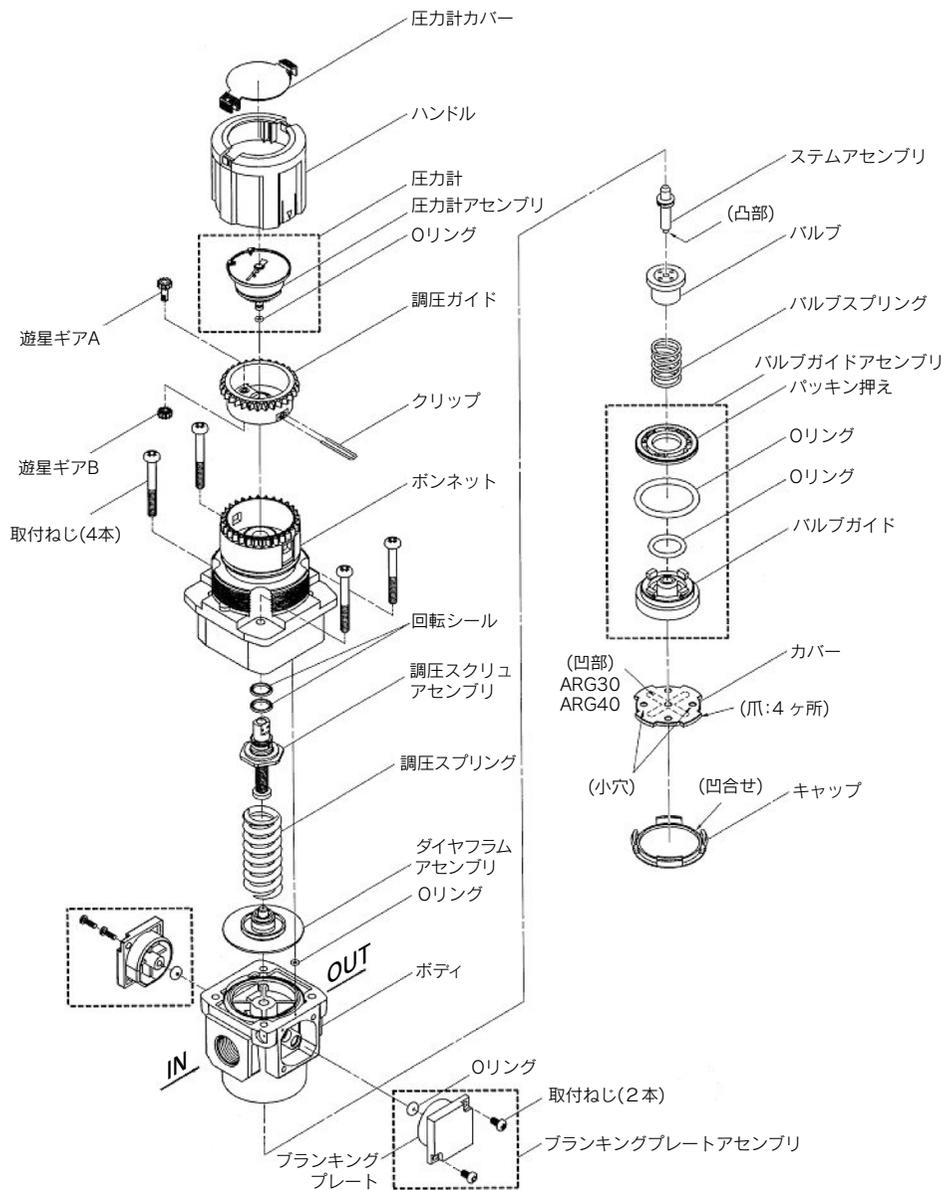
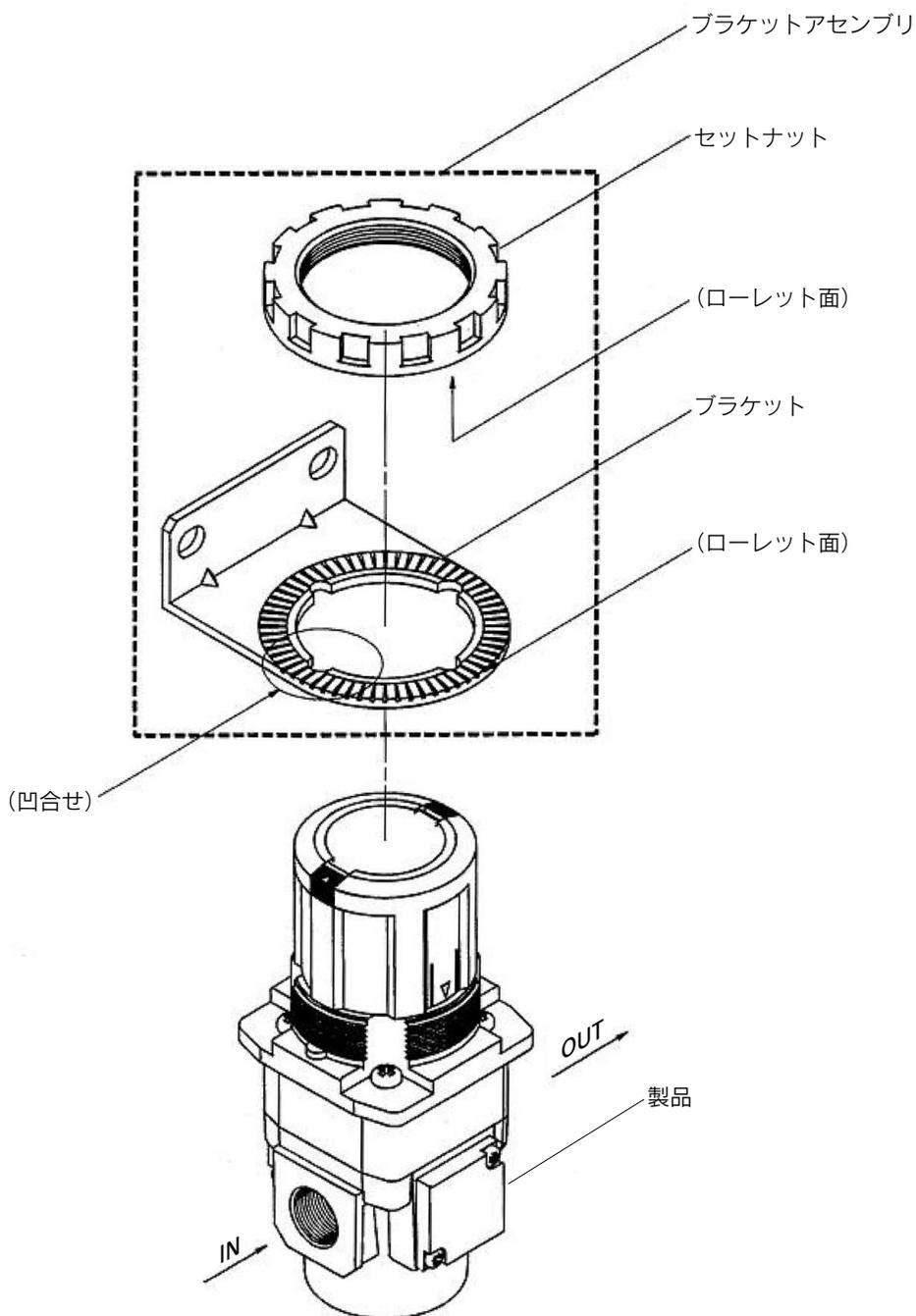


ARG20(K)-30(K)-40(K) 分解図 1



ARG20(K)・30(K)・40(K) ブラケットアセンブリ・パネルマウント分解図 2



アクチュエータ

モジュラフォーマット
圧力制御機器

圧縮空気清浄化機器

工業用フィルタ

交換要領

アクチュエータ

モジュラフォーマット
圧力制御機器

工業用フィルタ

ARG20(K)・30(K)・40(K) Series ダイヤフラム交換要領 1

⚠ 警告

交換作業前には、本機器内に圧力がないことを必ず確認してください。
 交換作業前には、設定圧力は必ずハンドルを左に回して、設定ゼロの位置にしてください。
 交換作業は、「分解図」を参照して行ってください。
 交換作業後は、必ず所定の機能を満足することと外部漏れがないことを確認してから装置を作動させてください。

1 ダイヤフラムアセンブリ

適応機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目				
ARG20(K) ARG30(K) ARG40(K)	分解	1) ボンネットを取外します。ドライバー(+)にて4本の取付ねじを左回転させて、ボディからボンネットを取外します。	ドライバー(+)	—				
		2) 調圧スプリング、ダイヤフラムアセンブリの順で取外します。ハンドル側を downward して作業しますと、ダイヤフラムアセンブリはボンネット側に取付けられていることがあります。	—	—				
	組付	3) ボディにダイヤフラムアセンブリ、調圧スプリングの順で装着します。	—	ダイヤフラムアセンブリの向き				
		4) ボンネットをボディに装着します。ボンネットの凸部をIN側にしてボディに装着し、ドライバー(+)で4本の取付ねじを仮締めした後、4本のねじを対角で均等に右記の締付トルクで締付けて固定します。	ドライバー(+)	締付トルク: <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td>ARG20(K)</td> <td>2.15±0.3N・m</td> </tr> <tr> <td>ARG30(K)</td> <td>2.35±0.3N・m</td> </tr> <tr> <td>ARG40(K)</td> <td>3.5±0.3N・m</td> </tr> </table>	ARG20(K)	2.15±0.3N・m	ARG30(K)	2.35±0.3N・m
ARG20(K)	2.15±0.3N・m							
ARG30(K)	2.35±0.3N・m							
ARG40(K)	3.5±0.3N・m							

2 バルブガイドアセンブリ、バルブ

適応機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
ARG20(K) ARG30(K) ARG40(K)	分解	1) キャップを取外します。ボディとキャップの隙間に時計ドライバー(-)を差込んで上方に持ち上げれば、外すことができます。	時計ドライバー(-)	—
		2) カバーを取外します。カバーの小穴2ヶ所に丸ペンチを差込み、左右のどちらかに45°回転させ、持ち上げれば取外すことができます。	丸ペンチ 呼び寸法:125	—
		3) バルブガイドアセンブリを取外します。ラジオペンチなどで、バルブガイドを挟んで、持ち上げれば、取外すことができます。	ラジオペンチ	—
		4) バルブスプリングを取外します。	—	—
		5) バルブを取外します。	—	—
	組付	6) バルブを装着します。ステムの凸部とバルブのセンター穴が合うように位置決めしてください。	—	ステムとバルブの位置決め (センター合せ)
		7) バルブスプリングを装着します。バルブの穴部にバルブスプリングが入るように挿入します。	—	—
		8) バルブガイドアセンブリとカバーのアセンブリをボディに装着します。ボディの切り欠き部とカバーの爪部が合うようにしてバルブガイドとカバーのアセンブリを押し込み、カバーの小穴2ヶ所に丸ペンチを差込んで、左右のどちらかに45°回転させて固定します。	丸ペンチ 呼び寸法:125	—
		9) キャップを装着します。ボディの凸合せとキャップの凹合せが合うようにしてキャップを押し込み固定します。この時、ボディ端面とキャップがほぼ面一に組付けられていることを確認してください。	—	ボディとキャップの合せマーク位置 ボディ端面とキャップがほぼ面一のこと

ARG20(K)・30(K)・40(K) Series ダイアフラム交換要領 2

3 ブラケットアセンブリ／パネルマウント

適応機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
ARG20(K) ARG30(K) ARG40(K)	組立	1) ブラケット(パネル)に製品を装着します。 ブラケット(パネル)の凹合せとボンネットの凸合せとを合せて製品をブラケット(パネル)に装着します。	—	—
		2) セットナットにてブラケット(パネル)に製品を固定します。 セットナットを引掛スバナで右回転させ締付けて製品をブラケット(パネル)に固定します。 締付トルクは、右記の管理項目をご参照ください。 ARG20(K)/30(K)/40(K)はブラケット取付けの場合にセットナットのローレット面がブラケットのローレット面と合うようにしてください。 ARG20(K)/30(K)/40(K)は、ブラケット取付けの場合に、一般使用において、セットナットを手で強く締付けても使用できます。	ARG20(K)/30(K)/40(K) 引掛スバナ 呼び: ARG20(K) 52/55 ARG30(K) 58/65 ARG40(K) 65/70	締付トルク: ARG20(K) 2.5±0.2N・m ARG30(K) 3.5±0.3N・m ARG40(K) 4.0±0.4N・m

アクチュエータ

モジュラ制御機器

圧縮空気清浄化機器

工業用フィルタ

交換要領

アクチュエータ

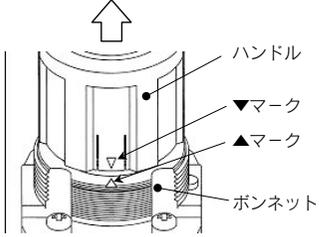
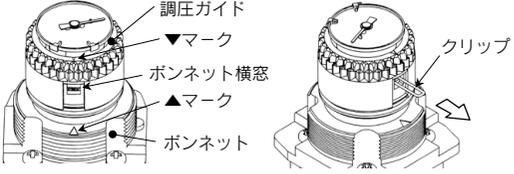
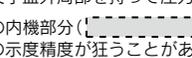
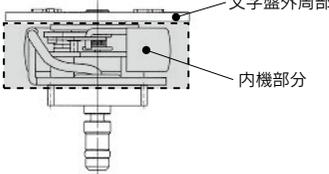
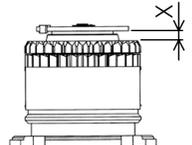
モジュラ制御機器

工業用フィルタ

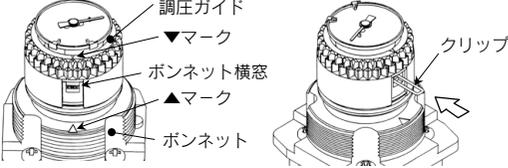
ARG20(K)・30(K)・40(K) Series 圧力計交換・角度変更作業要領 1

⚠ 警告

交換作業前には、本機器内に圧力がないことを必ず確認してください。
 交換作業前には、設定圧力は必ずハンドルを左に回して、設定ゼロの位置にしてください。
 交換作業後は、必ず所定の機能を満足することと外部漏れがないことを確認してから装置を動作させてください。

適応機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目								
ARG20(K) ARG30(K) ARG40(K)	分解	1) 事前準備 調圧ハンドル完全に緩めた状態で、調圧ハンドルのロックを解除した状態としてください。	—	調圧ハンドルとボンネットの間にオレンジ色のラインが目視確認できます。								
		2) ハンドルの取外し ハンドルの▼マークとボンネットの▲マークを合わせた位置で、ハンドルを引張って取外します。 	—	—								
	3) クリップの取外し ボンネットの▲マークと調圧ガイドの▼マークの合わせた位置にすると、ボンネット横窓からクリップが見えますので、クリップをピンセットで摘んで引抜きます。 ※マークを合せるときは調圧ガイドを時計回りに回して合せます。 	ピンセット	—									
	4) 圧力計の取外し 圧力計の文字盤外周部を持って圧力計を引抜きます。 ※圧力計の内機部分( 部)は触らないでください。 圧力計の示度精度が狂うことがあります。 	—	—									
組付	5) 圧力計のセット 圧力計の文字盤外周部を持って圧力計を任意の角度に合わせて、軽く押込みます。参考として圧力計取付後の文字盤下面と調圧ガイド上面の隙間寸法を表1に示します。 注1) 圧力計セット時に引っ掛かって入らない場合は、圧力計を回転方向に僅かに揺動させながらセットしてください。 (調圧ガイドの遊星ギアの歯と、圧力計一体で取付けられた太陽ギアの歯が上下で引っ掛かって入らない場合があります) 注2) 圧力計を奥まで確実にセットしてください。 注3) 圧力計先端にはグリスが塗布されたOリングが装着されています。圧力計セットの際にはゴミや塵をまきこまないように注意してください。	—										
				<p>表1. 隙間寸法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ARG20(K)</th> <th>ARG30(K)</th> <th>ARG40(K)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>X寸法 (参考値)</td> <td>2.6mm</td> <td>3.3mm</td> <td>3.3mm</td> </tr> </tbody> </table>		ARG20(K)	ARG30(K)	ARG40(K)	X寸法 (参考値)	2.6mm	3.3mm	3.3mm
	ARG20(K)	ARG30(K)	ARG40(K)									
X寸法 (参考値)	2.6mm	3.3mm	3.3mm									

ARG20(K)・30(K)・40(K) Series 圧力計交換・角度変更作業要領 2

適応機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
ARG20(K) ARG30(K) ARG40(K)	組付	<p>6) クリップのセット 調圧ガイドの▲マークとボンネットの▼マークを合わせた位置でボンネットの横窓からクリップを挿入します。挿入の際はピンセット等先の尖ったものを使って奥まで確実にセットしてください。クリップが奥まで確実にセットされていない場合、ハンドルセット後にハンドルが回らないことがあります。</p> <p>注1) クリップには抜け防止のため、先端にかけて僅かにテーパをつけています。クリップをセットする際は先端を若干広げながらセットしてください。</p> <p>注2) クリップが途中で引っ掛かって奥まで入らない場合、以下の原因が考えられます。</p> <p>① 調圧スクリュが元の位置よりも下がってしまっている。(完全に調圧スクリュを緩めた状態では、調圧ナットと調圧スプリングの間に隙間を設けているため、調圧スクリュを押込む力が過大に加わると調圧スクリュが下がってしまう場合があります。) 対策…調圧ガイドを時計回り(昇圧方向)に5回転程度回してください。</p> <p>② 圧力計が確実にセットされていない。 対策…5) 圧力計のセットをご参照ください。</p> 	ピンセット	—
		<p>7) ハンドルのセット ハンドルをセットして完了です。</p>	—	—

アクチュエータ

モジュラ制御機器

圧縮空気清浄化機器

工業用フィルタ

交換要領

アクチュエータ

モジュラ制御機器

工業用フィルタ